

海外日本庭園の再生に関する事業の概要

背景と課題

- 海外における日本庭園は、日本の魅力を分かりやすく発信する重要なコンテンツの一つとして対日理解の促進とともに、インバウンド促進に貢献
- 海外では500箇所以上の日本庭園が存在するが、適切に維持管理がなされていないものがあり、その保全再生が大きな課題
- 平成29年度から令和3年度の5箇年で、「海外日本庭園再生プロジェクト」として、日本の造園技術者を海外に派遣して修復を行うモデル事業を実施し、海外における日本庭園の修復要望に応えていくための体制を構築
- 令和4年度以降は、引き続き日本の造園技術者の派遣を通じた修復を行うとともに、日本庭園に関する技術の国内外に向けた普及・啓発を実施

内容

海外における日本庭園の現状

- 海外における日本庭園は、訪問者が来日動機を持つきっかけの場にもなっている
【日本ブランド調査2015（(株)電通実施）】
興味関心のある日本の物事トップ10において、日本食、日本への旅行、日本の温泉に次いで、日本庭園が4位
- 海外における日本庭園は、日本の魅力を発信する場として活用され、対日理解の促進に役立っている
【オーストリア ウィーンの例】
シェーンブルン宮殿内日本庭園で2015年9月に開催した秋祭りに1,100人の市民が訪れた
- 一方で、適切に維持管理がなされないものがある

<世界各地の損傷した日本庭園施設の例>



灯籠の着色や欠損

水景施設の損傷

四阿の屋根の経年劣化

海外日本庭園再生プロジェクト(H29～R3)

日本庭園の修復に係るモデル事業の実施、外国人技術者でも庭園の維持管理を適切に行うことのできる、分かりやすい維持管理マニュアルの整備等を通じ、海外における日本庭園の修復要望に応えていくための体制の構築を図る。

修復のモデルとなる海外日本庭園を選定

現地での日本庭園の修復

- ・修復計画の作成（オンライン打合せ等）
- ・日本から造園技術者を派遣し、地元の技術者との共同により修復実施

R4以降の取組

- 海外日本庭園再生プロジェクトにより蓄積された知見を基に、庭園修復等を通じた日本庭園に関する技術の国内外に向けた普及・啓発を行う